

学校だより



由木中央小

平成20年9月1日
学校便り9月号第6号
八王子市立由木中央小学校

HPアドレス：<http://www.edu.city.hachioji.tokyo.jp/school/yugce/>

二学期のスタート

校長 飯田 薫

今日から二学期、夏休み最後の週は、例年になく異常気象で強い雨や雷雨がありました。学校前の農協もその影響で一時システムダウンしたそうです。今日9月1日も上空の寒気の影響を受けて大気の不安定な状態は続き、夕方からは、にわか雨や雷雨の心配があります。気をつけていきたいところです。

いよいよ、今日から二学期、子ども達のたくましく日焼けした笑顔が、学校に戻ってきました。元気に登校してきた子ども達の声から、いろいろな体験を通して心と体がひとまわり大きくなっていることが分かりました。

今年の夏休みは、学校プールの改築で水泳の練習は出来ませんでした。それでも「由木東小の開放プールに行ったよ」とか「家族で海に行ったよ」等の多くの声に水に親しんでいる様子が感じられました。

さて、今年の夏は、出来る学年から夏休みの補習の試みをしました。送ってきた保護者のみなさんから、多くの感謝の言葉をいただきました。これからも学習等で子ども達とかかわりを持つことは、大切にしていきます。しかし大変な暑さの時期ですので、その対策の工夫が課題となりました。

ところで、10年毎の改訂である新学習指導要領が夏休み直前に告示されました。一昨年のPISA(OECD学習到達度調査)調査では、日本は国別で2位から5位に下がり読解力の低下とともに、子ども達のもっている知識や技能を生活にどのように活用できるかを考えさせる問題で大きく低下してきているという結果です。したがって、そこをふまえての改訂でもあります。知識の習得から活用する活動さらに、自分の考えを表現することが大切になります。また、それらはすべて言葉によって成立するものです。そこで言葉を大切に活動(言語活動)の充実が重要な柱の一つになっています。

最近の子ども達の遊びも、ゲーム機を持ちながらの遊びが多くなり会話も少ない状況があります。大人もインターネットのメールや携帯での連絡は多いのですが、お互いに顔を見て話す機会が減っています。コミュニケーションはメール等による結果だけの連絡では不十分な面があります。途中の会話の過程が様々な思考力・応用力の重要な「場」となるのです。言葉を大切に生活した生活を学校でも、ご家庭でも考えていくことが大切だと思います。

二学期は学習に、運動に最高の時期です。休み明けで生活のリズムにうまく乗れない子ども達もいます。オリンピックの平泳ぎで二つの金メダルを取った北島康介選手が、「練習でも本番でもスタートダッシュがすべての鍵です。」と語っています。二学期のスタートにご家庭においてもご協力をよろしくお願いいたします。本気の学び合いを「場」を基本として、二学期も努力して参ります。まだまだ暑い日が続きますが、新たな決意をもって、二学期の学校生活を充実させていきたいと思っております。